

京都社保協事務局通信

2023年度-第4号 2024.7.8

京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール京都 6 F

TEL 075-801-2526 Fax 811-6170

mail:shahokyokyoto@gmail.com

http://kyotosyaho.web.fcc.com

府内 22 番目の地域社保協

京丹波社保協結成!!

6月30日、京丹波町で府内22番目の地域社保協が結成されました。京丹波町病院を守る地域医療を考えるつどいや京都社保協キャラバン行動などを経て、昨年の7月に社保協結成に向けた懇談会を開催。その後、2回の準備会で議論を重ねてきました。結成総会には京丹波町の団体代表22人が参加。記念講演は、高齢施設職員の今中さんが「京丹波町の地域の高齢者福祉について考える」をテーマにお話をいただき、運動の交流も行いました。総会は、議長に選出された東さんの進行で、小林さんより経過報告・社保協設立の提案・会則などが提起され、全員で京丹波社保協の結成が確認。選出された副会長の中井さんの閉会あいさつで総会を閉めました。京都社保協からは、松本事務局長・西山前事務局次長が参加。総会には、中央社保協・兵庫県社保協・左京社保協・亀岡市社保協・京都医労連・新婦人京都府本部などからメッセージをいただきました。

今後の京丹波町での社会保障・社会福祉の運動の前進に期待です。

○記念講演「分断・孤立を乗り越え、地域で連帯を」

「京丹波町の地域の高齢者福祉について考える」をテーマに今中さんが講演。現在の社会保障・社会福祉の情勢や京丹波町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の説明、町では高齢化が進んでいること、介護施設・事業所も運営が厳しい状況になっていることなどが報告されました。今中さんは、コロナ・新自由主義の影響で、自己責任を押しつけられ、分断・孤立が進んでいる、何をしてもムダ、どうせ変わらないという風潮がある。連帯のためには、平凡な声かけが大事と強調されました。



○運動の交流から～子育てしやすいまちづくり

正式発足はまだですが、子育て京丹波の会をスタートさせたい。みな町の人口減少に危機感を持っている。子育て懇談会を開催したが、多くの人が中学校

給食無償化を希望。隣の亀岡市ではすでに無償化が実現している。また、子ども医療費の無償化については、償還払い(いったん支払って後でお金が返る仕組み)は困るという声が多い。

障害者のグループホーム設置めざして

グループホームの設立の取り組みをしている。先日、長岡京市の施設に見学に行った。障害児者を持つ町民へのアンケートに取り組み、「施設に入りたい、

グループホームに入りたい」という声強い。7月27日に障害を持つ人もだれでも集まりお話ができるような場を計画している。

訪問介護の現状と困難、問題の解決をめざして

訪問介護は、給与安く、人手不足。80歳になるヘルパーも代わりがないから辞められない状況だ。全国でこの5年で4分の1の訪問介護事業所、特に地方の事業所が閉鎖。今年の介護報酬も訪問介護は

下がった。やりがいを搾取されている気がする。訪問するとその家の大事にしていること、その人となり分かる。それが介護につながる、すばらしい仕事なのだが。介護を大事にする社会にしていきたい。